

道徳教育の充実

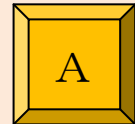
学校の教育活動全体で取り組むという観点から、校長の方針の下、学校の重点や方向性について共通理解し、道徳教育推進教師を中心とした組織的で一貫した推進体制により、道徳の時間を要とした道徳教育の充実を図り、豊かな人間性をはぐくみましょう。



大切にしたい4つのポイント

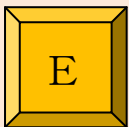
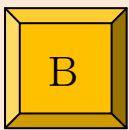
【学校組織としての取組の充実】

- 校長が道徳教育の方針を明確に示すこと
- 道徳教育全体計画の中に、道徳教育推進教師を中心とした機能的な推進体制を位置付けるとともに、研修の充実を図ること



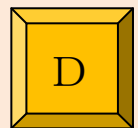
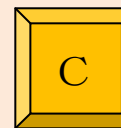
【活用しやすい全体計画、指導計画への改善】

- 全体計画の改善に当たって、道徳教育にかかわる、各教科等における指導の内容及び時期を整理したものや体験活動、家庭・地域社会等との連携のための活動等が分かるものを別葉として加えるなど、年間を通して具体的に活用しやすいものにする
- 年間指導計画の改善に当たって、展開の概要を加えるなど、各時間の指導の概要が分かるものにする



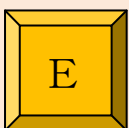
【魅力ある道徳の時間の計画的な実施】

- 形式的な指導に陥らないよう、指導方法を吟味するとともに、児童生徒の心に響く魅力的な教材を開発・選択したり、「岩手県版道徳資料集」や「わたしたちの道徳」を活用したり、地域との連携を図ったりすることを通して、創意工夫ある指導を行うこと



【「いわての復興教育」の教育的価値を踏まえた道徳教育】

- 「いわての復興教育」（いきる・かかわる・そなえる）の教育的価値を踏まえた道徳教育を推進し、特色ある道徳教育を進めることで、児童生徒の「道徳的な心情」、「判断力」、「実践意欲と態度」などの道徳性をより一層養うこと



遠野市立小友小学校の実践から

研究主題

心豊かでたくましい児童を育てる道徳教育
～郷土を愛し、その復興・発展を支える「ひとづくり」をめざして～

取組の内容

学校課題と「いわての復興教育」の教育的価値をふまえた道徳教育

(1) 心の教育の充実

- * 発問や板書の工夫、書く活動や役割演技・動作化などで話し合いの活性化を図る

(2) 「いわての復興教育」の教育的価値の具現化

- * 様々な体験活動と道徳の時間を関連させ、補充・深化・統合を図る

学校教育活動全体で推進する道徳教育

全体指導計画の改善 ※推進組織の明確化 体験活動・各教科等との関連(別業)
年間指導計画の改善 ※復興教育との関連 1時間ごとの展開の概要

家庭・地域と連携した道徳教育

(1) 地域人材の授業への活用

- (2) 道徳地区公開講座の実施
- (3) 校報・ホームページ等を活用した情報発信

取組の実際

5年生「感動したこと、それがぼくの作品」
東京書籍 1-(6)個性伸長の授業より

心の教育の充実

発問の工夫

他人からの評価に関係なく、自分の感動したことを絵に表し続けたピカソの信念に気づかせました。

「ぼくにとって、感動したこと、それが作品なんだ。」というピカソの言葉には、どんな意味があるのでしょうか。隣の人と相談してみてください。

- C1 ピカソが本当に描きたいと思うことは「自分が感動したことや心に残ったこと」で、そうでなければ自分らしい作品ではないという気持ちが強いのだと思います。
- C2 感動したことは、心を動かされたことなので、驚きや怒りも含まれるのかなと思いました。
- C3 誰かに認めてもらおうという気持ちではなく、本当に心のままを描きたかったのだと思います。



【年間指導計画】

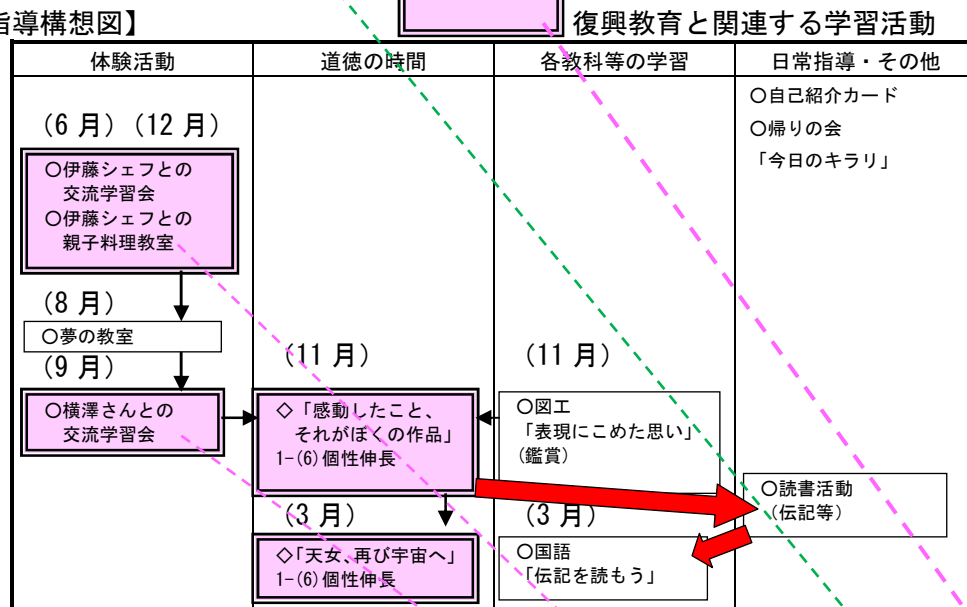
遠野市立小友小学校

第5学年 道徳 年間指導計画

1 主として自分自身に関すること No.6

内容項目	1-(6)個性の伸長	
「いわての復興教育」との関連		
教育的価値	具体的項目	取り扱う資料名
1【いきる】	③【価値ある自分】	感動したこと、それがぼくの作品
2【いきる】	④【夢や希望の大切さ】	天女、再び宇宙へ

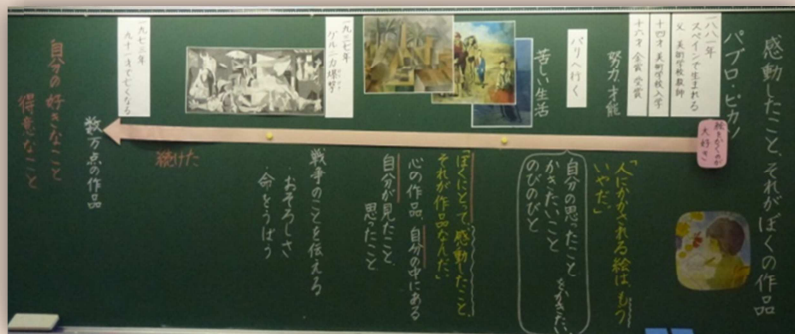
【指導構想図】



回	2	4	月	1	1	週	4
主題名	自分のよさを伸ばす		内容項目		1-(6)個性伸長		
資料名	感動したこと、それがぼくの作品		出典		東京書籍		
主題構成の理由	よさを伸ばしていく過程においてさまざまな障害や困難があったとしても、信念をもち努力を忘れないことで、「自分はこうありたい」という理想に近づいていくことができることに気づかせ、自分のよさや得意なことを伸ばしていこうとする態度を、この資料を通して考えさせたい。						
ねらい	「いわての復興教育」との関連 1【いきる】 ③【価値ある自分】 自分のよさや得意なことを伸ばしていこうとする態度を育てる。						
展開の概要	1 作品を見ながら、ピカソについて知っていることを発表する。 2 ピカソの気持ちを考えながら、ピカソの生き方について話し合う。 (1) 宮廷画家になることを勧められたときのピカソの気持ちについて話し合う。 (2) バリで苦しい日々を過ごしていたピカソの気持ちについて話し合う。 (3) 戦争中・戦争後のピカソについて話し合う。 3 学習したことを振り返る。 4 教師の話聞く。						

板書の工夫

ピカソが一貫して自分の描きたい絵を描き続けたことを、矢印を用いて視覚的に示したことで、ピカソが信念を貫いたことに対して思いを出し合うことができました。



C

書く活動の工夫

自分の得意なことを、信念をもってやり続けたピカソについて感想を書かせることで、自分の好きなことや得意なことについて見つめ直させ、自己有用感を深めました。



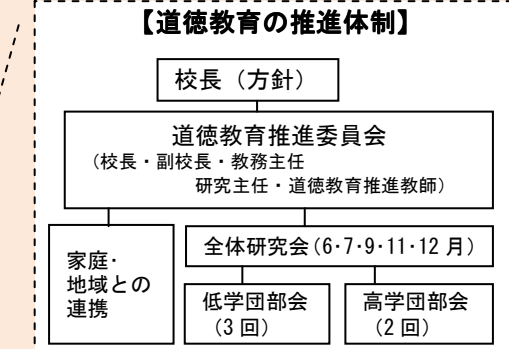
全体指導計画と年間指導計画の改善

推進体制の明確化と体験活動・各教科等との関連の明確化

道徳教育全体計画

道徳教育推進委員会	道徳教育推進委員会	道徳教育推進委員会	道徳教育推進委員会
道徳教育推進委員会	道徳教育推進委員会	道徳教育推進委員会	道徳教育推進委員会
道徳教育推進委員会	道徳教育推進委員会	道徳教育推進委員会	道徳教育推進委員会

全体計画の中に、道徳教育推進のための組織図を組み入れ、推進体制を明確にしています。



各教科等との関連を明確にするため、全体計画別業も作成を進めています。

B

道徳教育全体計画別業(小友小学校5学年)

内容項目	国	社	算	理	図	道徳
自分自身に関すること	(1) 敬語を適切に使おう					百折7のふたごしまい(5月) 流行おくれ(12月) いつも全力で(4月) ペーターペン(9月) 遠足の子どもたち(4月)
	(2) 伝記を読もう					見えた答案(5月) ペンギンは水の中を飛ぶ鳥だ(6月)
	(3) 気持ちを伝える言葉を考えよう					感動したこと、それがぼくの作品(11月) 天女、再び宇宙へ(3月)
	(4) 気持ちを伝える言葉を考えよう					
	(5) 伝記を読もう					感じたことを伝えたい 表現にこめた思い
	(6) 伝記を読もう					

道徳教育推進教師を中心に、別業をもとに体験活動や各教科等との効果的な関連を考え、構想図にまとめています。

「いわての復興教育」の教育的価値の具現化

年間指導計画の中に、「いわての復興教育」のねらう教育的価値と具体の21項目を位置づけています。本校では、「いきる」「かわる」を重点にして進めています。

体験活動や各教科等との関連の工夫

フレンチレストラン「ロレオール」のシェフ 伊藤さんやチェアスキーヤーの横澤さんを招いてのキャリア教育学習会を開催し、道徳の時間と関連させ、価値の補充・深化・統合を図りました。



役割演技や動作化の工夫

低学年では、主人公の気持ちに近づけるように、役割演技や動作化を取り入れています。



1年生「るいくんのゴール」(思いやり・親切)の授業では、おばあさんが持っていた重い荷物を実際に持たせることで、おばあさんの大変さを実感させ、主人公の気持ちにより近づけることができました。

右の2年生「森のともだち」(信頼・友情)の授業では、動作化をとおして、話し合いでは出てこなかった言葉や考えが出され、共感を深めることができました。



様々な体験活動と道徳の時間を関連させ、補充・深化・統合を図る工夫



六年生「小さい子からもらった幸せ」(勤労・社会奉仕)の授業



特養老人ホームでのボランティア活動



三・四年生による地域理解学習



三年生「ふるさといいところさがし」(郷土愛)の授業

4年生以上は、陸前高田市の特別養護老人ホームを訪問し、ボランティア活動をしています。

この活動の前後に道徳の時間で、勤労や社会奉仕について考え、活動の価値付けを行いました。

また、3・4年生は、総合的な学習の時間に地域理解学習を行っています。

地域のゲストティチャーに小友町の史跡や歴史について教えていただき、その学びをもとに、道徳の時間で郷土に対する思いをさらに深めました。

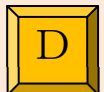
先進校視察や外部講師を招いての研修会の実施

道徳の時間の授業力向上を目指して、先進校視察や研修会への参加等で学んでいます。平成25年度は遠野市教育委員会と連携して、秋田公立美術大学教授 毛内嘉威先生を講師に迎え、遠野市内の先生方と一緒に、本時のねらいと中心発問の関連などについて学びました。



家庭・地域と連携した道徳教育

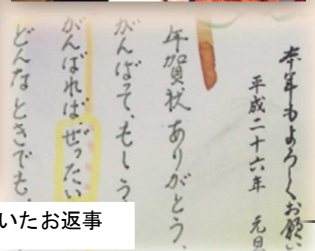
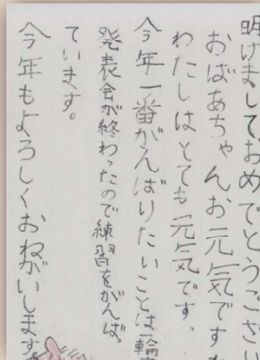
地域人材の授業への活用と道徳地区公開講座の実施・校報等を活用した情報発信



町内の一人暮らしのお年寄りに年賀状や版画カレンダーを贈る活動を通し、道徳で学んだことの実践化を進めています。



上左の写真は、道徳の時間の授業参観日に来校された地域の方々や保護者の皆さんです。地域の方々には、授業の中でお話を伺ったり、感想を話していただいたりして郷土を愛する心を育てています。上右の写真は校報です。そのときの授業の様子を家庭と地域にお知らせしています。



お送りした年賀状といただいたお返事

道徳教育推進教師からのワンポイントアドバイス

- 本校では、道徳教育推進委員会を開催し、「いわての復興教育」がねらう教育的価値と具体の21項目をもとに、**自分の学校の重点価値項目**の設定をしています。
- 年に1回～2回、その重点価値項目について道徳の授業研究会ができるように、教務主任や研究主任と一緒に調整を図って進めています。
- 年間数回の授業参観日のうち、1日は道徳を行うように学級担任と調整しています。

